

# 半導体漫遊記

112

## 湯之上隆

日本半導体産業は衰えた。

退が著しいが、唯一、東芝だけはNANDフラッシュメモリで世界と互角に戦っている。

私は元日立の半導体技術者であるが、「強い者をより強くしたい」という思いから、ここ

10年ほど東芝を応援してきた。東芝での講演回数は10回を超え、要社社長が「チャレンジ」請に応じて月に1回程度、助言するなどの協力をもってきた。それ故、歴代の3社長が辞任することになった今回の不適切会計には、大いにガツカリさせら

第三者委員会が7月

## 不適切会計の東芝、歴代社長圧力

# まるでブラック企業

社長を務めた西田厚聰氏は、8月の社長月例において、PC社に対して50億円の利益上積みを目指した。PC社は、この「チャレンジ」を達成すべく、同年9

14年2月の社長月例において、「(テレビなど)映像は第3四半期に赤字ゼロになったのに、第4四半期で赤字で元通りでは意味がない。なんとしても赤字にするように。あれ

20日に発表した調査報告書によれば、歴代3度には価格を釣り上げたことを必要以上に買い取らせる「押し込み」を実施した。その結果、西田社長退任直後は、09年度第1四半期末には、PCにおける不適切な利益計上残高務めた田中久雄氏は、

推計273億円に達した。

09-13年まで社長を務めた佐々木則夫氏に、第4四半期で赤字で元通りでは意味がない。なんとしても赤字にするように。あれ

東芝が出直して信頼を回復するためには、短期的に過度な利益目標を求める「チャレンジ」を廃止するとともに、「上司に逆らえない企業風土」を一掃する必要がある。東芝は8月中旬に新経営陣を発表するとしているが、上記の企業風土の染まった人物を社長にしても解決策にはならない。東芝社外から社長を連れてくるぐらいの荒療治が必要である。

田中久雄・社長 (2013~15年社長)



佐々木則夫・副会長 (2009~13年社長)



西田厚聰・相談役 (2005~09年社長)



図1 辞任することになった歴代3社長

(微細加工研究所・所長)